



# 高志台 学園だより

## CONTENTS

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 卒業生・修了生に贈る言葉        | 02-03 |
| さよなら高志台 思い出のアルバム    | 04    |
| さよなら高志台 (卒業生)       | 05-09 |
| さよなら高志台 (専攻科修了生)    | 10-11 |
| さよなら高志台 (留学生)       | 12-13 |
| PICK UP 2022 TOPICS | 14-15 |
| 卒業生・修了生表彰・進路状況      | 16    |

### 高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに” (越の国・古志の国・高志の国) と呼ばれていました。  
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構  
**長岡工業高等専門学校**  
National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

# 卒業生・修了生に贈る言葉

## 3つの「V」

校長 小林 幸夫

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、卒業ならびに修了おめでとうございます。

保護者の皆様のお慶びもひとしおのことと存じます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

卒業生、修了生の皆さんは、入学時と比較して心身ともにたくましく成長されました。厳しいカリキュラムをこなし、身につけた知識・技術やそれらを活用する能力はこれからの人生において大きく役に立つことでありましょう。今、日本ではイノベーションを引き起こせる人材が求められています。皆さんは、この長岡高専で、イノベーションを引き起こすための基礎を学び、卒業研究や特別研究で、新たな知見を得るための考え方を修得したと思います。是非これらの力を実社会で思う存分発揮してください。

私たちの社会は、これまで経験のないほどの大きな時代のうねりの中にあります。産業技術、特に、情報技術の急激な進歩は目を見張るものがあります。高度な情報技術が社会や私たちの生活の隅々まで浸透し、これまでにない新たな価値観を生み出し、新しい社会制度や生活様式が築かれようとしています。我々が経験する変化は、これまでの延長線上にはない劇的な変化です。その中で人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、これまで誰も見たことがない特殊な能力では決してありません。むしろ、どのような時代を迎えるとしても、知識・技能、思考力・判断力・表現力をベースとして、言葉や文化、時間や場所を超えながらも自己の主体性を軸にした一人一人の創造的能力や人

間性が問われることになります。

このような厳しい社会環境に長岡高専を旅立つ、卒業生及び修了生に、はなむけとして3つの「V」を贈りたいと思います。

最初のVはVisionです。今、君たちは卒業、修了にあたり、これからの新天地に期待をしていることと思います。そこでこんな事をしたいと夢を持っていることと思います。その夢を実現するためにどうしたらいいかというVisionを是非持ってください。明確なVisionでなくても、漠然とでも良いから自分のやりたいことを実現するための、将来のあるべき姿を思い描いてほしいと思います。

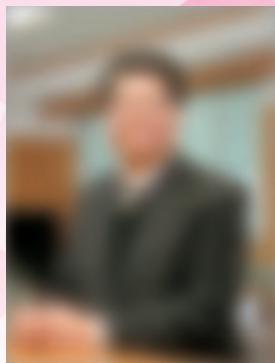
しかし、Visionを実現するためには、予想もしないいろいろな困難が待ち受けています。今の時代、何が起きるか分かりません。非常に変化の激しい時代です。そのような困難の時には、2つ目のVであるVenture精神で乗り切ってください。果敢に挑戦する心で、困難な問題にあたっ

てほしいと思います。時には冒険することも必要でしょう。冒険をして困難を乗り越えるには、3つ目のVである、Vitalityが必要です。何をするにも健康な心身が必要です。日頃から健康に留意し、生命力、活力を維持することを心がけてください。

この3つのVを意識して行動すれば、最終的には4つ目のV、Victoryが待ち受けていることと思います。皆さんの今後の活躍を期待します。

最後に、人生で最も多感な時期に、長岡高専で共に勉強し、課外活動等に勤しみ苦楽を共にした友は、一生の宝です。これからも連絡を取り合い、互いに協力し合い励まし合って、人生の糧となることを期待します。

本日は、誠におめでとうございます。







## 未来は君たちのためにある！ ～新しい世界への扉を開こう～

後援会長 長谷川 和明

このたび卒業式・専攻科修了式を迎えられた皆様おめでとうございます。小林校長先生をはじめ、学生たちに寄り添いながら熱心にご指導いただきました全ての教職員の皆様にあたためて感謝申し上げますとともに、お子様を支えてこられた保護者の皆様方にも後援会を代表して心からお祝いを申し上げます。

長岡高専での学校生活を通じて多くの仲間や先生方との貴重な出会いが皆さんを大きく成長させてくれたことと想います。卒業後は進学や就職とそれぞれ進んで行く道が異なりますが、過去を振り返らずに前だけを向き、思い出よりも輝く明日を信じて、新しい環境にいち早く適応しこれまで積み重ねてきた経験を次のステージで最大限発揮してください。

世界がコロナ禍に見舞われた3年間で在学時期と重なったため、様々な制約を受けながらの日々が続き、当初想像していたものとは違う学校生活だったと思います。ただ、こうした状況の中で皆さんが、今出来る最大限のことに取り組みむことで身につけた「生き抜く強さ」は、これからの

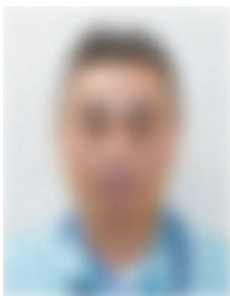
人生に必ずや大きな糧となってくるものと信じています。

世界は今、あらゆる面で大きな転換点を迎えています。環境変化のスピードは加速度的に進み、持続可能な社会の実現が一層求められていく中で、これまでの価値観に捉われることなく、新たな答えを自ら探し続けることが大切です。

地図などない長い人生の旅路においては、その時点での最適解を見つけ出ししていく判断力、決断力が求められてくるでしょう。未来は皆さんのためにあります。どんな状況に置かれても諦めることなく、自分を信じて自分の力で、新しい世界への扉を開け、夢を探し希望ある明日への階段を上っていきましょう。

長岡高専は昨年、創立60周年を迎えましたが、長い歴史の中で数多くの優秀な人材を各分野へと輩出してきました。次は皆さんの出番です。長岡高専で学んだ高度な技術や専門知識を活かし、次代を担うエンジニアとして日本はもとより世界を舞台に羽ばたき、国内外の経済社会の発展に大きな貢献を果たされていくそんな姿を思い描いています。

結びにあたり、後援会活動に多大なご協力を賜りました関係各位の皆様には厚くお礼申し上げますとともに、全ての卒業生・修了生の皆さんが未来へと続く道を自分の足で切り拓きながら、「新しい景色」を常に追い求めていくことを期待して、お祝いの言葉とともに心からのエールを贈りたいと思います。



## 社会情勢の変化に 対応する力を付けよ

同窓会長 古田島 智裕

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。

在学中、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、様々な制約の中での学生生活であったと思います。そんな中で学生達を支え導いてくださった保護者の皆さんや先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2月に「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が決定され、マスク着用の考え方の見直しを行うなど、政府はコロナ対策を大きく変えています。事実、2月現在コロナ感染者数は減少しており、ワクチンの効果が出てきたものと思われます。しかし、花粉の時期とも重なり、マスクを外す人は意外に少ないかもしれません。世間では今までマスクを付け慣れているので、外した顔を見せたくないという意見もあるようです。マスクを付ける自由、外す自由が守られる社会でありたいですね。皆さんは、決して誹謗・中傷する側にならないように注意してください。

コロナは落ち着いてきているようですが、ウクライナ情勢や円安による燃料価格の高騰も大きな問題です。私の周りにはオール電化の家に住んでいる人が多いのですが、電気料金が1か月10万円を越えたと言ってかなり驚いていました。これから更に、中国の経済活動再開による影響も不安要素として考えられています。2月には、大手銀行が東京電力に対し4000億円もの緊急融資を決めました。それだけ、深刻な問題となっています。国民の今後の生活に大きな影響を及ぼすものですから、何かしら出来ることはないのか考えたいものです。社会情勢はめまぐるしく変化します。それに対応してゆくためには、やはり若い皆さんのアイデアとエネルギーが必要です。失敗を恐れることなく、チャレンジしてみましょう。

皆さんの進む道は決して1本ではありません。これから幾度か進む先を選択する時も来るでしょう。その時に困らないよう、色々経験し、考え、教えてもらいながらいつまでも成長する気持ちを持つことが重要です。

そのためにも、まずは健康が一番です。自分の体を大切に、周りの人の健康にも留意し、社会情勢の変化に柔軟に対応し、自分を輝かせましょう。

明日の世界を担う皆さんを応援しています。ご安全に！



## さよなら高志台 思い出のアルバム

2018-2022

### 2018.4.5 入学式

本科1年生206名、3・4年編入生8名、専攻科生39名、総勢253名が新たに本校の一員に加わりました。

2018

- 1月 築地市場最後の初競り  
箱根駅伝で青学大4連覇
- 2月 平昌五輪でスピードスケート女子の小平、高木らが金メダル
- 6月 史上初の米朝首脳会談
- 7月 サッカーW杯で日本16強
- 9月 北海道地震  
自民総裁選で安倍首相が3選
- 10月 本庶佑氏にノーベル医学・生理学賞



2018.4.9~10 1学年合宿研修①

2019

- 1月 大坂、全豪テニス初制覇
- 3月 イチロー引退、日米通算4367安打
- 5月 「令和」に改元
- 7月 はやぶさ2「りゅうぐう」に2回目着陸
- 10月 消費税10%スタート  
吉野彰氏にノーベル化学賞  
ラグビーW杯で日本代表8強入り

2018.4.9~10 1学年合宿研修②

2020

- 1月 首里城火災
- 4月 英国がEU離脱  
新型コロナで国内緊急事態宣言、政府が布マスク配布、国民に一律10万円
- 6月 黒人差別の抗議、世界に拡大
- 7月 「Go To トラベル」キャンペーン開始
- 8月 甲子園高校野球交流試合
- 9月 菅内閣が発足
- 12月 はやぶさ2のカプセル回収
- 1月 アメリカ大統領にバイデン氏が就任

2019.11.2~3 学園祭①(Ci2企画)

2021

- 1 都3県に緊急事態宣言(新型コロナウイルス感染症)
- 2月 新型コロナワクチン接種開始
- 4月 原発処理水、海洋放出を決定
- 7月 東京オリンピック開幕
- 8月 東京パラリンピック開幕、新型コロナ変異株(「デルタ株」)が猛威
- 9月 自民党総裁に岸田氏、首相に就任

2021.1.26 国際関係学演習発表会

2022

- 10月 真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞
- 11月 大谷翔平、満票でメジャーMVPに
- 1月 新型コロナウイルス感染症オミクロン株が猛威
- 2月 ロシアがウクライナ侵攻  
北京五輪、日本勢のメダル冬季最多
- 4月 知床観光船沈没事故
- 7月 安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
- 10月 一時1ドル150円台 32年ぶりの円安水準に  
ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王
- 11月 サッカー・カタールW杯が開幕 日本はドイツ・スペインに逆転勝利で決勝Tに1位で進出

2022.10.12 体育祭

2023.2.2~3 卒業研究発表会②

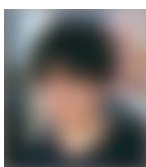
### 2019.10.16 体育祭

### 2019.11.2~3 学園祭②(EC2企画)

### 2021.11.5~7 学園祭

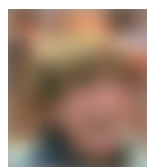
### 2023.2.2~3 卒業研究発表会①





## ありがとう、長岡高専 谷口 諒

入学当初は「卒業まで5年間って長いなあ」という気持ちでしたが、気が付けばあっという間に過ぎてしまいました。振り返ってみると、この5年間は本当に充実していました。まず、部活動です。私は水泳部に所属していました。入部する前、高専水泳部の練習はそこまで大変ではないだろうという甘い考えをもっていました。一切そのようなことはありませんでした。とても辛かったです。しかし、日々の練習を乗り越えたことで様々な大会に出場することができました。特に、高専大会で仲間と全国各地を回ったことが思い出に残っています。次に、学校生活です。高専では、2年生以降はクラスメイトが変わらないという特徴があります。これはクラス替えの楽しみが無い反面、同じ学科の人との仲が深まるメリットであると思います。私は、同じクラスの友人と共に勉強をしたり、くだらない話で盛り上がったり、笑いあった日々を一生忘れません。今後は長岡技大に進学するので、長岡高専で得た経験を生かし、立派なエンジニアになるため勉強に励みたいと思います。5年間、ありがとうございました。



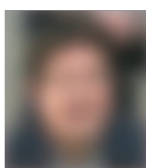
## 感謝 吉井 諒

とても楽しい5年間でした。お世話になった先生方、ありがとうございました。とくにクラスのパパこと佐々木先生、ストレスで胃に穴が開いた新井先生、感謝の気持ちでいっぱいです。長岡高専での勉強がすべて身についたと思いません。得たものは、試験や課題締め切りの前夜に、自ら追い込み身につけた短期集中力と、同志との深い絆でしょう。そして5年間に頑張ったクラスメイトと留年していった元クラスメイト、他学科では末席の成績でも、席次を真ん中に保てたのはみんなのおかげです。ありがとう。

僕の学生生活のほとんどは部活動のバスケットでした。怪我ばかりで手術もしましたが最後まで続けて良かったです。このチームで全国大会準優勝できたこと、キャプテンであったことを誇りに思います。関わった先生方、一緒にバスケットをした後輩たち、同期、OBの皆さんありがとうございました。とくに大翔と拓真、5年間ありがとう。

寮生活も思い出が沢山あります。詳しいことは書けませんが退屈しない毎日が最高でした。1年生の時の諸注意は絶対に忘れません。

5年間楽しい思い出ばかりでした。ありがとうございました。



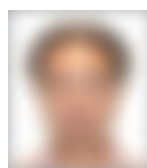
## ご卒業おめでとうございます！ 3～5学年クラス担任 佐々木 徹

担任となった3年次当初は、コロナウイルスのまん延が始まり、先を予想できない状況でした。皆さんと顔も合わすことができず、その後、遠隔授業が始まり少しずつ変化していきました。半分以上の高専生活がwithコロナであり、皆さんも苦労が多かったと思います。しかし、この経験は、この先の変化の多い世の中で、きっと皆さんの糧になるはずです。

また、1年次から学力の面で心配な声・厳しい声が聞かれるクラスでした。しかし、担任として実際に皆さんに接すると、“良く言えば”まるで子供のように根は“素直”な学生が多いと感ずることが多々ありました。その素直さは、これから皆さんが技術者として働いていく中で、目標を持ち続けければ、様々な形できっと役に立つはずです。

最後に、3年次の始めのホームルームから何回かの機会に、「しっかりと実力をつけて卒業して欲しい」「卒業後も良好なクラスの間関係構築を築いて欲しい」との話をしました。今、自身を振り返ってみてください。その自信・反省を胸に、技術者としての責任を持ち、学び続けてください。

ご活躍を応援・期待しております。



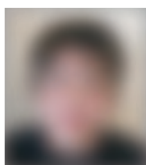
## 卒業おめでとう 2学年クラス担任 新井 好司

卒業おめでとう。2年生の時の1年間担任を務めましたが、担任としては非常に大変苦労して、そして、非常に心配なクラスでした。それでも多くの学生が卒業できたことは喜ばしいことです。

今卒業しようとしている自分は、高専に入学した時に思い描いていたものと比べてどうですか？ 思い描いていた通りの人もいれば、良い意味でも悪い意味でも違っている人もいます。ただ、いずれにしろ、それは全てこの5年間の自分の行動の結果であり、自分自身によるものであって、他人や周りの問題ではありません。

これから卒業後、こうなりたい、こうしたいという希望や期待を持っていることでしょう。ただ、そのためには多くの努力が必要です。社会は皆さんに対して学校ほど甘く接してくれません。卒業後のこれからの長い人生を、良いものにするか、多くの後悔を持つものにするかは自分次第です。是非、良いものにするために努力することの大切さを理解して、忘れないでほしいと思います。



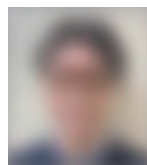


## かけがえのない経験 近藤 善博

私の入学時、同じ中学校から長岡高専に入学したのは2人だけで学科も違ったため、入学当初に持っていた不安感は今でも覚えています。ですがその心配は無用なものだとわかりました。クラスの仲間たちは内気な自分でもすぐに友達になれるいい奴らでした。そんな彼らと高志祭、クラスマッチ等の楽しい行事や定期テスト、レポート作成等の学習の日々を過ごせたこの5年間は、あっという間でしたがとても濃厚なものでした。コロナの影響で遠足や研修旅行に行くことができなかった点だけは残念でしたが、下級生の皆さんにはぜひ楽しんでもらいたいと思っています。

また、この5年間の学生生活の中で多くの先生方のお世話になりました。私が何かの壁にぶつかる度に先生方は必ず力になってくださり、たくさんのことを学ばせてもらいました。この長岡高専から旅立つことはかなり寂しさを感じますが、思い出を胸に技大でも頑張りたいと思います。

最後に高専で出会ったすべての皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。



## 大人 坂上 拓嶺

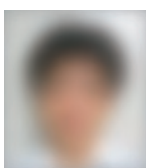
大人はよく、「仲間が大事だ」「経験が大事だ」「努力が大事だ」と言います。子供の私はそのときいつも、「そんなこと分かってるよ」「もう聞き飽きたよ」と思っていました。

1年生のとき、全生徒29人の中学校から高専へ入学した私は、難しい講義や慣れない寮生活、あまりの学生の多さに入学早々自信を無くしてしまいました。そんな自分にも気さくに声をかけてくれるクラスメイトや寮生に、当時の私は救われました。あのときどのような会話をしたか、意外と今でも覚えています。

3年生のときの、部員の推薦で電算機部の部長になったことが特に記憶に残っています。文化発表会では他高専の学生と作品を見せ合い、パソコン甲子園では予選を突破して本選に出場しました。部活動での経験は、今でも生活の役に立っています。

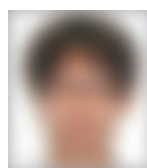
5年生になり、受験対策を一番頑張りました。受験の手続きや方法、面接の対策など、勉強以外にもやらなければならないことが多く、苦労しましたが、多くの人の助言や協力を得て志望校に合格することができました。一生忘れません。

大人はよく、仲間や経験、努力が大事だと言います。大人になった私はこのときようやく、大事と言われる理由が理解できました。



## 未来のみなさん 3～5学年クラス担任 島宗 洋介

2020年の4月からみなさんのクラスに合流し、はや3年。ずいぶん大人っぽくなったな～と言うのが率直な感想です。もうすぐ卒業なのかと思うと寂しくなってしまうので、この先、一体どんな人生をすごしていくのだろうか？ 社会でどんな風に働いていくのだろうか？ とアレコレ勝手に想像してみました。見えました。たまたま仕事や人間関係で愚痴ることもあるけれど、なんだかんだ言いながらも愚直に仕事をしっかりこなす人、仕事はそこそこで私生活が趣味で充実している人、出張ばかりでほとんど家にいないけどいろんな地方や国にネットワークを広げた人、いつも会社にいるからいつの間に先輩を通り越してヌシのような存在になっている人…いろんなタイプがいましたが、みんなそれぞれ苦労もあるけれど、自分の足でしっかり生きているステキな大人になってました。そんな皆さんを見ると、若いっていいなって心底思いました。あ、いけませんね、想像が止まらない…。一番伝えたかったことがありました。気持ちを込めて伝えます。「卒業おめでとう!!!」



## 卒業おめでとうございます 2学年クラス担任 大森 理聡

みなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが本校に入学してから早や5年が経とうとしています。

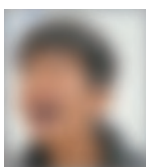
高専入学当初を思い出せますか。学科のクラスとして2年生を始めた時を思い出せますか。日々の生活や行事、留学生が仲間になったこと、寮へ個人面談に行ったこと、キーホルダーになったこと、担任として様々な経験をさせてもらいました。

4月からみなさんの多くは、進学、就職など新しい環境になることでしょう。そこで、今までにない経験、喜び、困難など様々なことが起きるでしょう。理不尽なこともあるかもしれません。そんな時は、ひとまず周囲を見てください。あなたを信頼し、支えた仲間や家族がいるはずですよ。思いがけず起こったことを楽しめれば最高ですが、楽しめないことも多いでしょう。そんな時は、自らが高専や人生で培った経験を駆使し、または、一度受け入れてみてください。みなさんなら困難を原動力に成長することでしょう。

卒業されるみなさんのご活躍を願っています。







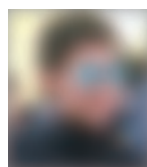
**5年間の日々**  
佐野 裕馬

長岡高専に通い始めて5年が経っていました。振り返ると、徹夜しないと終わらないレポート、恐ろしい難易度の定期テスト、終わりの見えない卒業研究と、毎年追い詰められ、あっという間の高専生活でした。

ですが、そんな忙しい高専生活の中で楽しかったことも多くありました。スキー合宿や木工祭といったイベントはもちろん、食べ過ぎたラーメン、激辛すぎた焼きそば、空き時間のキャッチボール、段ボール製の爆速そりなど、毎日当たり前の日常が自分にとって一番でした。この日常が過ぎせなくなることがとても悲しいです。

高専生活で楽しかったことはもちろん、苦勞したことも今では良い思い出です。この先の人生、大変なことがたくさんあると思いますが、後々良い思い出になると信じて、全力でチャレンジしていきたいと思っています。

最後になりますが、5年間を共に過ごした（少し変だけど良い）友人たち、最後まで指導してくださった先生方、関わったすべての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

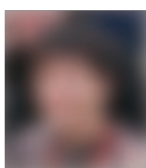


**たくさんの出会い**  
矢野 敦大

私は学校の授業以外の活動に積極的に取り組んできました。部活はテニス部と電算機部、学生会では体育委員会に所属しており、4年生のころからは学園祭の演劇にも参加していました。これらの活動を通していろんな人と出会いました。その出会いは高専入学前までの私の中の常識を何度も覆し、人間的に成長させてくれたと思っています。

語りたいことはたくさんありますが、中でも特に印象的なのが5年生の演劇です。最高学年として後輩たちをリードする難しさ、同級生との意見の衝突など、苦勞したことをあげるときりがありません。しかし、学科が一丸となって演劇を成功させられた達成感は、忘れられません。今思うとあの1か月が、5年間の中で一番楽しく、成長した期間だったと思います。優秀な後輩・同級生と出会うことができ本当によかったと思っています。

卒業ということで一旦お別れということになりますが、将来はOBとして何かしらの形でこの場所に帰ってきたいと強く思っています。最後に5年間ご指導いただいた先生、先輩、そしてともに過ごしたクラスメイトに感謝を申し上げます。



**高専生活を胸に**  
3～5学年クラス担任 酒井 一樹

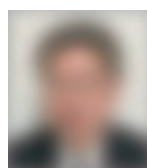
顔と名前も一致しない上にオンラインで始まった初担任でした。不安だらけでしたが、実際いろんな困難がありましたが、いざこの時期が来ると少し寂しくもあります。

どんな高専生活になったでしょうか？ コロナの影響で見学旅行など多くの行事が中止になり、なかなかクラスで団結した思い出が作れずに歯がゆい思いをしていました。だからこそ、5年次の電制祭と学園祭に一生懸命取り組むクラスの姿が見られたことはとても嬉しかったです。皆さんにとっても、思い返すと熱い気持ちになれる思い出のある高専生活になってくれたら嬉しいです。

昔読んだ本に書いてあって心に残っている言葉を送ります。

「諦めなければ人生には成功しかない。」

これから先、たくさんの出会いと試練が君たちを待っています。挫折そうになることもあるでしょうが、このコロナ禍の高専生活を乗り越えた自信を胸に、歩み続けてください。いつの日か、君たちがどんな人生を送ったか聞かせてもらえる日が来るのを楽しみに、僕も歩み続けたいと思います。改めまして、卒業おめでとう！



**卒業、おめでとう**  
2学年クラス担任 山田 章

卒業にあたり、皆さんに胸に留めておいてほしいことを2点提案します。

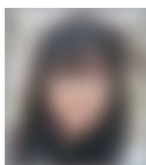
1つ目は、「物事に楽しみながら取り組む」です。新しい技術が発展し、世の中の変化が年々激しくなっています。その中で何かを成し遂げる人、成果をあげる人は、楽しんで取り組んでいる人です。楽しんでいるからこそ、良いアイデアが出たり、継続して取り組めたりして、結果がついてきます。

2つ目は「他の人と協力して取り組む」です。一人では実施が難しいことも、他の人と協力することで新しい視点を得て、互いに得意なことを発揮し合うことで、より良い方向に進めることができます。

2年生の時は48名在籍、初めてのPCSHS留学生のいるクラスでした。皆さんは楽しく協力していたと感じています。学園祭で、皆で協力してホームルームいっぱい立体迷路を作り上げ、大勢の客を呼び込み、クラス企画優秀賞をとったことはその象徴です。

私が挙げた2点は、長岡高専在学中に皆さんが経験してきたことです。この2点を胸に新たな環境に羽ばたいていってください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

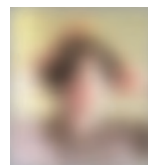




### 16歳の私へ 小柳 百桃

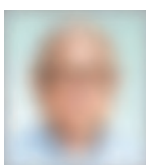
未来の私から言っておきたいことがあります。入学式翌日の直通バスはすごく混むので定期券をリュックの中から出しておきましょう。学科別の初回授業で、友達が出来ないと思い込みますが大丈夫です。今こちらは友達と楽しく卒業旅行を計画中です。部活に入れば頼もしい先輩たち、かわいい後輩たち、親身になって話を聞いてくれる顧問の先生と出会えます。そして3年前期、ほぼ全てオンライン授業になります。家で色々なことを考え、悩むかと思えます。でも家族が支えてくれるはず。何でも相談しましょう。今思えばこの時にTOEICの勉強をしておけば良かったです。ぐーたらしていると受験チャンスが無くなり、祈りながら瀕死状態で結果を見ることになります。研究室に所属し、研究中心の現在です。先生は初歩的な質問にも丁寧に答えてくれます。期待した結果にならず落ち込むこともあります。そんなときは友達に話してみましょう。同じ状態だったりします。

最後に、私は専攻科に進学予定です。専攻科卒業時、高専を選んで良かったと心から思える様、関わってくださる全ての方に感謝を忘れず、これからも頑張るので近い未来を楽しみに待っていてください。



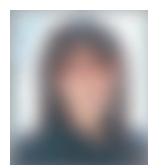
### そういえば最近、絶望したことがあるんです 羽田 泰幸

いくら寝ても朝は眠いということ、しないほうがいい後悔があること、バカ真面目は心を病むだけだということ、面倒な女性が好きだったこと、ギターはすごく難しかったこと、簡単に研究職につけると思っていたこと、不安は自由の眩暈であるということ、誰も自分以上に自分の人生に関心を示してはくれないこと……、高専五か年の課程で得た知見。それらは悪くいえば「絶望」でした。勝手に期待して、裏切られたように思って手放してきたものは、手についたものよりもずっと多い。けれど私にはこれが物語でいうところの山場で、青春群像劇にありがちな「葛藤」に思えます。一度でも自分の手に掴まなければ、手放すことはできない、現実と向き合うことがなければ、人生は随分と味気なくなってしまう。そんな人生を、いったい誰が誇ってくれるのでしょうか？ ——そんなの誰も、もはや自分自身でさえも関心しない。だから私は絶望を誇示し、手放すことを銜い、人生を編纂することを要します。私はこの高志台での出来事を、きっと大人になっても、大層楽し気に、まるで今のこのように、語っているのでしょう。



### コロナ禍の経験を活かしてがんばろう 3～5学年クラス担任 菅原 正義

卒業おめでとう。しかし、どうもピンとこない。マスク無しで諸君の顔を見たことはほとんどなく、見学旅行をはじめ多くの学校行事・地域の行事が中止となってしまう、しっかり話をしたこともあまりない。けれどコロナ禍に負けるな。不都合なことを、コロナ禍のせいにせず前向きに生きて欲しい。コロナ禍がなければもっと勉強や課外活動で成果を出せたかも、色々な体験をすることでできたかもと思うだろう。しかし、多くの制限がある中で諸君は新しい高専生活をやりきることができたのである。このコロナ禍によって、社会の仕組み、常識、しきたりなど多くの変化がもたらされた。これから諸君は、進学するものや就職するもの、多くの個々の新しい生活、社会へ羽ばたいていく。諸君のすむその社会もまた、この3年間のコロナ禍によって大きな変革が起きている最中であるだろうし、それに対応するため皆が努力している最中に違いない。今まで以上に大変なこと、辛いことが待っているだろう。そんな時は、この長岡高専で学んだ知識や技術だけでなく、学生生活で出来た友達や仲間、教職員を頼りにして前に進んでほしい。コロナ禍で多くの制限がある中で諸君は新しい高専生活を創り上げやりきることができたので、がんばることができると期待している。そうすれば楽しいことや嬉しいことにも出会うであろう。その時の笑顔や感情を、他の人にも分けてあげられるような人であって欲しい。我々、教職員、在校生、ご家族の方々も、諸君をいつまでも応援しています。最後にもう一度、卒業おめでとう。



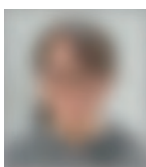
### 卒業によせて 2学年クラス担任 土田 泰子

この卒業の日に至るまでに、学校生活の中では本当にいろいろなことがありましたね。「解決できるのかな?」と心配になる出来事もいくつかありましたが、何とか乗り越えて来られました。皆さんがこれから社会で活躍できるようになるためには、知識や技術に加えて、「うまくできた経験」や「失敗した体験」がとても重要です。「うまくできた経験」は自信や次の挑戦への意欲につながります。「失敗した体験」も、問題点を分析して行動を見直すチャンスを与えてくれます。何かトラブルがあっても、自分には関係ない、と思っていると、そのトラブルは解決しません。うまくいかないことに対して、自分がすべき行動や、自分に求められているミッションを見つけ出すことが最初の一步です。大切なのは、考えたことを行動に移すことです。少し勇気があるかもしれませんが、一人では難しいときには、仲間と一緒に取り組めるとよいですね。そして、困ったときには母校にヒントをもらいに来てください。長岡高専に関わるいろいろな人が、皆さんを応援しています。

ご卒業おめでとうございます！







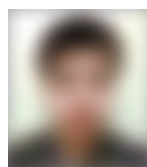
## 5年間ありがとうございました 今井 彩乃

高専での5年間はあっという間に過ぎました。その時々で大変な思いをしましたが、今振り返ってみれば高専生で良かったと思います。そんな中でも思い出深いものを2つ紹介します。

1つ目はコロナの影響で遠隔授業になったことです。3年生の前期や4年生の冬にコロナの流行によって対面での授業ができなくなりました。オンデマンド形式の授業ではモチベーションを保つのが難しく、課題を溜めがちでしたが、家族の支えもあり何とか乗り越えられました。このおかげでzoom等のオンライン会議やパソコンをスムーズに使えるようになったので悪いことばかりではなかったと思います。

2つ目は、部活動です。入学する前にオープンキャンパスに参加したときに、デザイン部が作成した橋の模型を見て、私もこういうことがしたいと思い、入学してすぐにデザイン部に入りました。そこでは、トートバッグのデザインを考えたり、紙で橋を作ったりして、全国の高専生が出場するデザコンにも参加しました。これを通じてものづくりの大変さを知り、授業では学ぶことのできなかった経験ができて良かったです。

最後に、5年間お世話になった教職員の皆様、支えてくれた友人や家族に感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。



## 忘れることのできない5年間 加藤 尚希

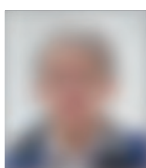
入学当時は遙か先のように感じた卒業が、目前に控えていると思うとあっという間だったなと感じています。そこで、5年間振り返ってみようと思います。

不安と期待が入り混じった1年生、雪の少なかったスキー合宿、コロナ禍によるオンライン授業と研修旅行中止、終わりのみえない実験レポートと研究など様々なことがあった5年間でした。一夜漬けで臨んだ結果、赤点で返ってくるテストやふざけあったり笑いあったりと楽しすぎた寮生活など色々なことを経験することが出来ました。個性の強い留学生と関わることができたのも良い思い出になりました。

来年度から自分は就職し社会人となります。正直なところ、今まで経験したことのない全く未知の世界へと進むのはとても怖く、不安でいっぱいです。それでもこの5年間でたくさんの方々からもらった知識や経験を糧に頑張ろうと思います。

最後になりますが、5年間で充実したものにしてくれた友達や先輩方そして後輩、たくさん学ばせていただいた先生方、5年間高専に通わせてくれた家族に感謝します。5年間本当にありがとうございました。在校生の皆さん、楽しい高専生活を送ってください。

長岡高専最高！



## 輝く未来 3～5学年クラス担任 宮寄 靖大

ご卒業、おめでとうございます。3年という短い期間でしたが、クラス担任を受け持ち、成長していく皆さんの姿を直接見ることができ、光栄に思っています。

本科5年間の学生生活は、如何でしたでしょうか。様々なことがあったと思いますが、苦労したこと、努力したことは必ずあると思います。また、4月からは、それぞれが新しい環境の中で、多くの人と交流し、新しい経験をしながら、さらに自身の能力を向上させていくことと思います。その中で、本校での経験が皆さんの糧となり、多くの壁を乗り越え、将来活躍されていくことを期待しています。

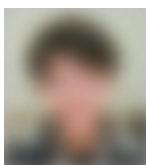
卒業後の環境では、様々な課題も存在すると思います。そのような課題解決の際には、新しいことに取り組むことも必要となります。新しいことに挑戦するときには、大きなエネルギーを必要とします。しかし、自分が良いと感じたことは実践することが大切です。高専生活では実践できなかったことも含め、失敗を恐れず、前向きに挑戦することを心掛けてください。



## 人生遠回りしたっていいじゃない 2学年クラス担任 大湊 佳宏

環境都市工学科の皆さん、ご卒業おめでとうございます。少々人数は減りましたが、皆さんが無事にこの日を迎えることができ、元担任として嬉しく思っております。あまり知る人は少ないと思いますが、2年生の時だけでも、決して平和なクラスではありませんでした。詳しくは紙面で語ることは出来ませんが、その後がとても気になっています。1年次には2組を担当しました。4月にお花見に行き、7月にハワイ旅行のお土産を配ったクラスです。皆さんからの祝福は決して忘れません。あれから5年が経ち、私も2児の父となりました。ようやくです。保護者の皆様の苦勞を、少しでも感じ始めることが出来るようになりました。高校を出て直ぐには大学には行かず、大学も4年では卒業出来ず、定職に着けたのは30歳近い頃でした。何もかもが人よりも遅く、ゆっくりと世の中を見て生きてきました。遠回りした分、人と違う経験をたくさんしました。最短距離を生きるより、回り道をした方が大切なものを見失わなくて済む気がします。その寄り道、良かったら私も付き合いますよ。卒業おめでとう。





## 高専生活7年間 ～優先順位 1.部活 2.自分 3.友人 4.勉強～

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）  
本間 拳

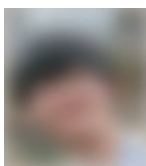
「入る学校間違えたな」、7年前の入学当時はそんな風に思っていました。下調べも大してせずに、入りたい高校がなく選んだ学校が長岡高専でした。辞めようかなと思ったこともありましたが、しかしある人との出会いによって、この学校でちゃんと勉強して頑張ろうと思えるようになり、7年間高専で過ごしてきました。

専攻科生として過ごした2年間はあっという間でした。他専攻の人とのグループワーク、インターンシップ、コロナ自粛でのオンデマンド授業、研究活動、部活動の参加、NaDeCのイベント等ありました。これらの中で特に印象に残っていることを書こうと思います。専攻科2年間と本科5年間の計7年間続けてきた部活動のバレーボール部。自分の人間性を育ててくれた活動です。縦との関わりが多く、上は27歳、下は16歳と幅広い人間関係を築けました。専攻科生になり部活動に参加できる機会は減りましたが、他の部員と一緒に練習して、後輩の子の成長を感じられることが専攻科生として過ごした2年間の中で1番嬉しく、1番の思い出です。

この7年間は多くの人との関わりがあり、その中で学びや経験を得ることができ、自分を支えて頂けたことをこの場を借りて感謝を伝えたいです。ありがとうございました。



温泉旅行



## 1/3

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）  
山坂 昌司

長岡の地で生活を始めて7年が経過しました。長かったと同時に短くもあった7年間は私の人生の1/3を占めています。私事ではありますが、定住した土地としては1、2を争う長さとなりました。

私の高専生活は多くの人々に影響を受けた7年間でした。たとえばプログラマを志したのは、電算機部でプログ

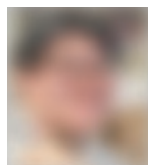
ラムの楽しさを教えてくれた先輩方のおかげです。充実した時間を過ごせたのは、かけがえのない友人に恵まれたからです。今の進路があるのは、支えてくださった先生方と長岡高専という自由な校風のおかげです。そしてなにより、このような経験ができたのは入学を応援してくれた両親のおかげです。すべての縁と幸運に感謝しかありません。

年をとると時間が経つのが早く感じるとよく言います。もしかしたら体感でいうと人生の1/3をゆうに過ぎているのかもしれない。残り2/3ほどの人生を全力で生き抜ける自分でありたいと思います。

最後になりますが、関わってくださった皆様、支えてくださった皆様へ。これから社会に出て生きていく中でここ長岡高専での経験、つながりが私の中で息づいていくことがとても嬉しく思います。7年間本当にありがとうございました。ついでに雪に凍えた経験も引き連れて暖かい土地で頑張ります。



専攻科生研究シンポジウムの受賞報告



## The 7th Annivers@ry

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）  
山岸 遼平

高専生になり、7年が経ちました。人生のおよそ3分の1をこの学校で過ごしたことになります。私は本当に7年前から成長できているのでしょうか。できてなきゃ困ります。7年でそれほどまでに色々なことを経験しました。

特に思い出に残っているのは部活でしょうか。7年ダンス部を続けたおかげで沢山の先輩・後輩と知り合えたことはとても嬉しく思います。また、学祭で踊った動画がTwitterでバズったり、研修旅行では夜の秋葉原を歩き回ったり、専攻科の授業の延長で長岡市主催のイベントの企画を手伝ったり、本当に楽しく貴重な経験ができたと思います。もちろん、日々の勉強や研究で大変なこともたくさんありました。特に、研究をしていた3年間は将来の大きな転換点となった激動の期間であり、この3年を通して大きく成長できたと感じています。研究を教えてください

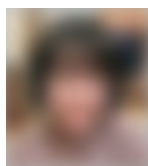


た先輩方や、私の意見をしっかりと聞いてくださり、指導してくださった先生方のおかげです。

私は、先生方や個性豊かな友人・先輩・後輩達と出会えたことが、一番良いことだったと感じています。これまで支えてくださった皆様、7年間本当にありがとうございました。卒業してもまたお会いできた際にはよろしくお願ひします。



高専生活最後のステージで踊ったダンス部5年生



### ひとかけらの勇気

物質工学専攻（物質工学科出身）

五十嵐 梨紗

私が大好きな宝塚の一曲です。「強い力、立ちふさがろうと、僕は諦めはしない。ひとかけらの勇気が僕にある限り。」この曲は私の人生の応援歌です。

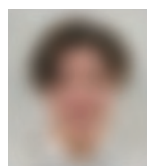
高専に入学してから7年間、たくさんの挑戦の機会を頂き、貴重な経験をしました。高専受験で圧迫面接を受けたこと、物理のテストで全部埋めて52点を取ったこと、卒研発表準備が進まず涙したこと、そんな苦難を経験した分だけ楽しいこともありました。友人と化学インターハイに出場したこと、本科卒業時にクラスで旅行に行けたこと、沖縄高専で研究できたこと、医学部への進学が決定したことなど、辛いことも楽しいことも挙げたらきりがありません。



サイエンスカンファレンス（in OIST）での発表の様子

ん。しかし、これらの経験に共通していることはどんな時も、いつもそばで支えてくれる家族、一緒に苦楽を分かち合える友人、親身になって教えてくださる先生・先輩方がいて下さったから、私はひとかけらの勇気をもって前に進むことができました。本当に心から感謝しています。ありがとうございました。

最後に、高専入学直前の15歳の私へ。「長いようであっという間の7年間、どう過ごすかはあなた次第。でも、勇気をもって挑戦すれば支えてくれる仲間がいます。」



### 7年間ありがとう

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）

中村 柊太

高専に入学し7年が過ぎようとしています。入学当初の私は「本科5年が終わったらすぐ働こう!」と息巻いていましたが、いつの間にか専攻科に進学していました。それだけ高専での様々な経験や出会いの影響が大きかったのだと思います。

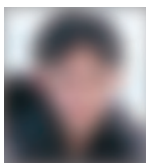
7年間の思い出を振り返ってみると、予想以上に鮮明に情景が浮かびます。親元を離れ寮生活を始めた1年生。学科ごとに分かれ、専門科目が始まった2年生。実験やレポートを通し、友人との距離が縮まった3年生。研修旅行、海外派遣実習に参加した4年生。研究活動を通し、友人との仲が更に深まった5年生。そして、専攻科2年間の文化祭で行ったチャリティーマラソン。この他にも書ききれないほどの思い出がたくさんあります。時には勉強や研究、就活などで大変な思いをしたこともありましたが、総じてこの7年間は何にも代え難く、幸せな時間でした。高専に進学することを決めて良かったと心から思います。

社会に出ると嬉しいこと、辛いことに今まで以上に直面すると思いますが、互いに共感し合い、支え合い、「高専ではこんなことがあったね」と懐かしみ、笑い合えることを願っています。

最後になりましたが、7年間支えてくださった教職員の皆様、大変お世話になりました。



令和4年度 末工祭 チャリティーマラソンにて  
（専攻科の伝統になってほしいなあ…）



## 心覚え

電気電子システム工学科／国籍：タイ  
ナッタワット マンクラキリー（オーク）



長岡高専に編入してから4年が驚くほどはやく経ってしまい、つい昨日のことのように感じています。長岡高専の2年生に來たばかりは、日本語がうまく話せず、16歳で初めての外国に暮らしていた私は、生活も勉強もわからないことだらけで、本当に心配でした。

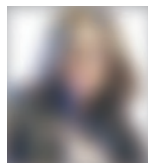
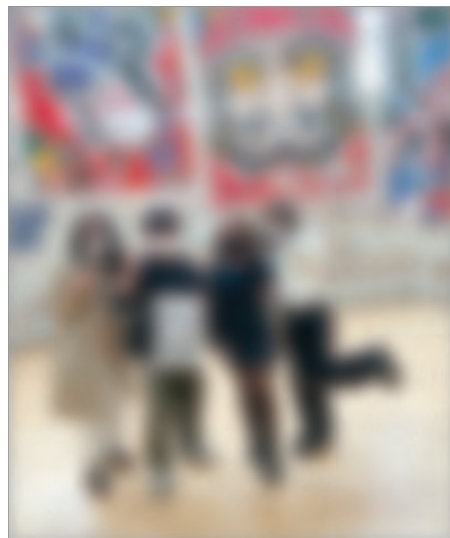
しかし、いつも支えてくれる担任先生と日本語の先生、いつも指導して下さった研究室と学科の先生方と教職員方、いつも過去問を送ってくれる二人のチューターたち(w)のおかげで、私は成長してここまでやってこれました。本当に感謝いたします。私が困っているときに、私の話を聞いてくれたり、肩を叩いてくれたりする友達と後輩たちがいることが一番よかったと思います。また、留学生に向けて色々な活動や旅行などを多く行ってくれたおかげでいろいろなことを学び、とても楽しかったです。今まで体験したことのない経験ができました。私は高専の専攻科に進学するのでまだ2年間ここにいますが、今までいい思い出をたくさん作れたこの4年間を忘れずに、学んだことを活かしてこれからの道で頑張っていきたいと思います。長岡高専の皆様へ心から感謝して、これからの2年間もよろしく願います。またお会いしましょう。



が昨日のことのように記憶に鮮やかだ。最初は毎日がチャレンジでしたが、どんどん楽しくなってきました。

国を超えた友人たち、何でも手伝ってくれるチューターや先輩たち、いつも優しくしてくれる先生たちや寮事務の皆さんがいてくれたから今の自分がいます。長岡での経験や皆さんのアドバイスのおかげで、これからの人生でどんな問題が会っても乗り越えることができる気がします。

私に関わってくださったすべての方に感謝します。悲しい時や寂しい時があったが、みなさんのおかげで喜びに満ちた3年間に心から感謝いたします。



## いよいよ日本

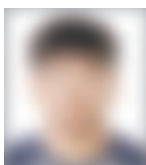
物質工学科／国籍：モンゴル  
チンゾリグ ハグワスレン（チェー）



4年前に高校を卒業して、子どもの頃から好きだった日本にいよいよ来るチャンスができて、言葉だけで言えないくらい幸せでした。日本に来る前に人と話しかけるために長岡市に留学することを知って長岡市の方言と若者たちの言葉などを調べて勉強しました。そのおかげで、上手く話せませんでしたが、時間を経つとどんどん分かって行って何とかできるようになりました。

長岡市の花火大会をネットで知り、早く行って花火を見るのが楽しみにしていました。でもコロナウィルスのせいで、2年間を見ませんでした。今年の夏友達のおかげで見るチャンスが出てありがたいです。いよいよ日本へ留学して、日本文化、花火大会、友達まで作って本当にうれしかったです。

そこに來て2年をたち、たくさんの友達を作って、一緒に楽しんだり互いに教えたり、学んだりいい思い出を作って気持ちが最高です。また先生たちは知識、能力、チームコミュニケーションという3つのものはどのくらい大事かを考えさせてくれた。モンゴルにいるうちに楽しみにしてい



## 未来への一步

電気電子システム工学科／国籍：モンゴル  
ビャンバスレン ウネンフー（ウーネー）



長岡高専に入学してから3年が経ち、私も22歳になりました。長いようで短い3年間でしたが、ここで本当に多くの素晴らしい人々と出会い、人生で一番成長した時期でありました。母国では、何でもできる気がしていたが日本に來て初めて自分の小ささを気づいて様々なことを学びました。広い海を見て世界の広さを感じながら自分に「何があっても諦めない、絶対に乗り越えて、過去のことを楽しいように話せるようになる」と誓った時



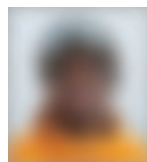
ました日本は思ったより素晴らしい文化、言語、習慣があることを周りから感じました。残念ながら、私は卒業生で、国へ帰ってここで得た知識、道徳、文化を自国に展開してもっと習います。楽しみにしていました日本に来て優しい日本人と仲良くして、言語、文化から少しでも習ったのでうれしい。特にチューターさんたちと先生たちはこの間勉強と生活のことに手伝ってくれてありがたくて感謝します。この3年間いろいろなことがあったんですが、その間の思い出一生忘れられなくて、大切にします。最後に、人間は自分の夢を叶えたいと思っていれば苦しいときでも、悲しいときでも努力と諦めない2つの性格をできるだけ出して欲しいと言いたいです。



### 僕の1095日間戦争

環境都市工学科／国籍：ルワンダ

ビーリングロ ブリス アリ (ブリス)



長岡に来てからの私の3年間は一瞬の出来事でした。私は2019年の春に日本へ来日し、ここ長岡へは2020年の春に訪れました。2020年度はコロナショックの初めの年で、授業はほぼ遠隔、同級生とも会えず、当時は本当に大変な時期でした。その後7月から徐々に対面授業がスタートし、今まで会えなかった同級生とも会うことが出来、少しずつではありますが、思い描いていた学生生活を送ることができるようになりました。

対面授業が始まってからは非常に早いものでした。勉学に勤しみ、友達と遊び、たくさんの思い出をもらいました。コロナで見ることの出来なかった長岡花火も大切な友達と見に行きました。

この3年間、大変ではありましたが、私は多くの方にえられてきました。先生方と職員はもちろん、友人、長岡の人々に最大限の感謝を申し上げたいと思います。私はこれから新生活が始まりますが、長岡での経験は役に立つものだと思います。

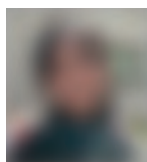
本当にありがとうございました。



### きっといつかまた会えるから！

物質工学科／国籍：マレーシア

ラム ホ ヤン (ホ ヤン)



長岡高専を離れる日はついにやってきました。コロナの関係で、高専生活は2年ぐらしかないかもしれませんが、一生忘れられないぐらいの思い出がたくさんできました。最初はちゃんと友達ができるかどうか、とても心配でしたが、ありがたいことに、クラスの皆さんは私を優しく受け入れてくれました。3年生の時からずっと支えてくださった先生や教職員の方々、チューターさんや留学生の皆さんにも、本当に言葉で言い表せないほど感謝しています。おかげさまで、私はここまで来られて、素敵な高専生活を過ごせました。

あと少しで離れてしまうことを考えると、何回も悲しく感じます。もう一生会えなくなってしまうのが怖くて、残りの時間を大事にしました。ずっと一緒にいられたらいいなと何回も思っていました。これから皆は、新しい生活を始めて、将来もきっと立派な大人になれるでしょう。そばにいても、遠いところで応援しているから、お互い頑張りましょう！ いつかまた会えると信じます！

長岡高専、ありがとうございました！

#### ■ 高専制度創設60周年・長岡高専創立60周年記念特別講演会を開催（2022.07.25）

令和4年6月16日(木)、高専制度創設60周年・長岡高専創立60周年記念事業の一環として、本科1・2年生を対象に特別講演会を開催しました。講師として本校OBで本校客員教授の、フラー株式会社代表取締役会長 渋谷修太氏を迎え、「起業家の力で、故郷を元気に。」と題し、ご講演いただきました。

#### ■ 4年生が見学旅行に行ってきました（2022.10.13）

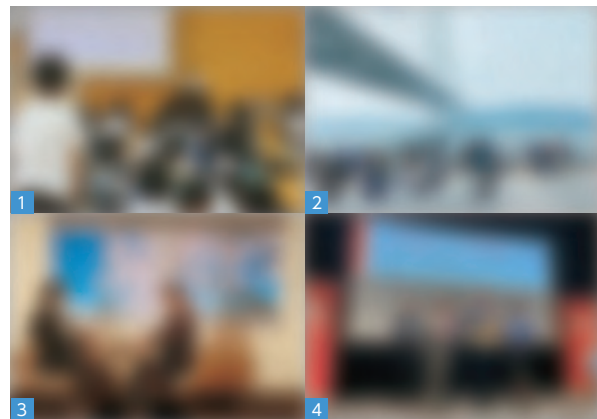
令和4年9月26日(月)～29日(木)に4年生が見学旅行に行ってきました。近年コロナ禍の影響で中止されてきましたが、令和元年度以来3年ぶりの実施となりました。中止にならずに行くことができ、本当に良かったです。

#### ■ 末工祭を開催しました（2022.11.25）

令和4年11月5日(土)、6日(日)に令和4年度末工祭を開催しました。マウスガードを装着して演劇をしている姿などを見て、開催を実現した学生の企画力や創意工夫に敬意を表します。

#### ■ 第5回日本オープンイノベーション大賞で、本校実施のプロジェクトが内閣総理大臣賞を受賞（2023.01.23）

内閣府ほか複数の省庁等が主催する「第5回日本オープンイノベーション大賞」において、本校が実施する「JICA高専オープンイノベーションチャレンジ」が、最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。



### コロナ禍対応を振り返って・1年を振り返って

#### 地域に愛される長岡高専を目指して

教務主事 村上 能規

令和4年度は、対面で学生さんが学校に来て授業、実験実習を受ける機会を作るとというのが私の大きな目標でした。オミクロン感染拡大で4月当初は学年閉鎖や学級閉鎖がありましたが、なんとか、定期試験も卒研を含む各種発表会も登校して実施する形に戻りました。普段の授業風景を見に講義棟に行くと、マスクをつけたままという不便さがあるものの、休み時間に廊下で楽しそうに話をする様子や実験実習をする姿を見て、長岡高専の有るべき教育の姿に戻れたとほっとしています。

3年工場見学を毎年9月に実施していますが、最近では新潟県、長岡市や小千谷市のご協力の下、地元の企業のものづくり現場を見る企画が定着しております。長岡高専が地元で愛される学校であって欲しいという願いは長岡高専創立当初から有る話ですので、地元企業を見学する企画は素晴らしいと思っています。今後も継続して地域企業を見学する機会が続くことを切に願っております。

今年度は久々に、4年見学旅行が復活しました。専門学科クラス単位の県外旅行はきっといい思い出になったと

思います。

リモート講義と言う言葉も普通に使われるようになりました。マイクロソフトアプリにアップロードした先生方の授業動画を閲覧し、チャット機能で講義の質問するのも普通になりました。これからも、このような新しい教育を取り入れつつ、一方で、長岡高専の創立の精神の一つでもある地域に愛され、地域と繋がる教育活動を継続し、地元への還元を意識したエンジニア教育を進めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



3年生工場見学会における地域企業の見学の様子

#### コロナ禍での学生達の活躍について

学生主事 新井 好司

昨年度までは新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、学生会活動や部活動が制限・影響を受けてきました。今年度もその状況は変わりませんが、全ての活動が中止されることなく、感染対策を行いながら実施することができ

ました。

4月には新入生歓迎会（部活動紹介）が行われ、6月には文化競技会が行われました。そこでは、ドッジボールなどの体を動かす様な競技からUNOなどの室内のできるゲームなど多くの学生が楽しく幅広く参加できるように学生会の学生役員達の工夫が見て取れました。10月には体育祭、12月にはクラスマッチが行われましたが、今年度からeス



スポーツを導入するなど、これまでに無い新しい取り組みを学生達が自ら考えて、積極的に変えて行こうとする姿勢には頼もしい印象を持つことが出来ました。

11月には木工祭が入場制限無しで行うことが出来ました。コロナ禍前の様な学園祭の実施が難しい状況でも、苦勞しながら前向きに成功させようとする学生達の努力は大変なものであったと思います。閉会式や最後の打ち上げ花火では、涙を流してる学生も見られました。

部活動においても、全ての高専大会が予定どおり実施され、多くの部活動が全国大会に進みました。

このようなコロナ禍が続いている状況でも、多くの学生達の活躍が見れたことは非常にうれしい限りです。来年度も引き続き多くの活躍を期待したいと思います。



11月木工祭

## 寮務主事3年目を振り返り

寮務主事 市村 勝己

悠和寮の開寮初年度につき、通常2年任期のところ寮務主事3年目を仰せつかり1年間任務を遂行して参りました。1年目を振り返り反省点と良い点を各3点挙げたいと思います。反省点1) 春の寮内クラスター発生 (Covid-19)



悠和寮ラーニングスペースでの学習支援の様子

からの学級・学年閉鎖、2) 低学年におけるSNS等での誹謗中傷、3) 点呼不在者数の増加：良い点1) 寮での学習支援、2) 一年生への生活支援、3) 寮生の自立です。上記3つの反省点を一言でまとめると、「他者への配慮の欠如」でしょうか。感染拡大は新生活様式を守れば防げたでしょう。誹謗中傷は相手の気持ちが分かる人への成長を期待します。点呼不在は電子届出で楽になった分、提出忘れが増加。点呼の重要性の再認識を切望します。一方、良い点ですが、新しい寮での学習支援制度は、毎週火曜日に1年生対象に上級生がサポートする仕組みです。熱心に支援する上級生と真面目に取り組む一年生の姿がとても印象的でした。生活面では、ある教員から「コロナ禍で指導寮生の1年生への指導のありがたが変わってよかった。」との言葉がありました。逆に「指導が甘くなったのでは」と感じている方もいますが、支援8割・指導2割の継続を期待します。ある1年生の保護者からは、「入寮し数ヶ月ですっかり自立した。寮の仲間とも楽しく生活しているようで、寮に入れて本当によかったです。」との言葉をいただきました。これも指導寮生や上級生の寮生たちのおかげだと思います。寮生の皆さんに心から感謝します。

## 卒業生限定！UIJターンサイトがオープンしました！

毎年、卒業生から担任や学科長に、「再就職先無いですか?」「地元に戻りたいのですが、求人有りませんか?」のような問い合わせが少ないながらもありました。理由はミスマッチだったり、地元以外に就職したことで地元の良さを再発見したりと様々です。ただ、相談出来る教員が既に退職していたり、教員も日々の業務に負われ中々対応出来ないこともありました。このような状況をなんとかしたい!との思いから、卒業生の地元での再就職活動を支援するUIJターンサイトを作成しました!本校技術協力会に加入している企業情報・中途採用の求人票が掲載されており、地元での再就職活動を支援します!卒業生はHP上から卒業年次やプロフィールを入力するだけで(本人確認のため)、無料で利用出来ます(企業情報の検索・閲覧だけなら登録不要)。R5.1.7時点で登録企業数162社、求人票も113件登録されています!本校技術協力会会員企業が登録していますので、もちろん県外の求人もあります!

ミスマッチを解消したい、地元でスキルを活かしたい皆さん!是非お気軽にご利用ください!

地域連携推進センター長 赤澤 真一



# 卒業生・修了生表彰 進路状況

## 卒業生・修了生表彰 (令和5年3月13日時点)

### 長岡高専の学則に定める賞

#### 特別表彰

|          |       |
|----------|-------|
| 物質工学専攻   | 土田 紗綺 |
| 環境都市工学専攻 | 高嶋 冬依 |

#### 功労賞

|             |       |
|-------------|-------|
| 電気電子システム工学科 | 尾身 直輝 |
| 環境都市工学科     | 高橋 彩夏 |

#### 精励賞

|             |       |
|-------------|-------|
| 機械工学科       | 谷口 諒  |
| 電気電子システム工学科 | 尾身 直輝 |
| 電気電子システム工学科 | 八島 俊介 |
| 物質工学科       | 佐藤 桜子 |
| 物質工学科       | 星野 奈月 |

#### 皆勤賞

|             |       |
|-------------|-------|
| 機械工学科       | 北村 清史 |
| 機械工学科       | 谷口 諒  |
| 電気電子システム工学科 | 入倉 愛梨 |
| 電気電子システム工学科 | 大谷 洸雅 |
| 電気電子システム工学科 | 笠井 勇希 |
| 電気電子システム工学科 | 蓮見 航大 |
| 電子制御工学科     | 小林 陸駿 |
| 電子制御工学科     | 嶋田 天太 |
| 電子制御工学科     | 筋内 奏依 |
| 物質工学科       | 遠藤 菜  |
| 物質工学科       | 小柳 百桃 |
| 物質工学科       | 坂上 響  |
| 物質工学科       | 高橋 悠  |
| 物質工学科       | 富樫 隆裕 |
| 物質工学科       | 星野 奈月 |

|         |      |    |
|---------|------|----|
| 物質工学科   | ラム ホ | ヤン |
| 環境都市工学科 | 今井 礼 |    |
| 環境都市工学科 | 神林 昂 |    |

#### 善行賞

|         |        |
|---------|--------|
| 機械工学科   | 安達 慶哉  |
| 機械工学科   | 高橋 昂暉  |
| 機械工学科   | 松山 悠大  |
| 環境都市工学科 | 佐々木 大貴 |

#### (以下、在校生の「善行賞」受賞者)

|                |       |
|----------------|-------|
| 電子機械システム工学専攻1年 | 安澤 秀真 |
| 環境都市工学科2年      | 小野田 倭 |
| 環境都市工学科2年      | 小林 勇貴 |
| 環境都市工学科2年      | 布川 倅  |
| 機械工学科1年        | 石高 一樹 |

### 各種学会賞等

|                                                                                                   |              |              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|
| 令和4年度 独立行政法人国立高等専門学校機構 学生表彰 理事長賞                                                                  | 物質工学専攻       | 茂田井大輝        |
| 7th STI-Gigaku 2022 "Best Research Presentation Award"                                            | 電気電子システム工学科  | 野村 旭         |
| 第13回福島地区CEセミナー 口頭発表賞                                                                              | 物質工学科        | 金内 大洋        |
| 日本機械学会 島山賞                                                                                        | 機械工学科        | 谷口 諒         |
| 第12回高専-TUT太陽電池合同シンポジウム&GEAR防災・減災(エネルギー)シンポジウム&GEARマテリアル(エネルギー)シンポジウム&GEARエネルギー・環境シンポジウム 優秀ポスター発表賞 | 物質工学科        | 小林 俊太        |
| 令和4年(第32回)電気学会東京支部新潟支所研究発表会 優秀発表賞                                                                 | 電気電子システム工学科  | 鈴木 哲人        |
| 日本化学会関東支部 支部長賞                                                                                    | 物質工学科        | 高橋 悠         |
| 日本化学会関東支部 支部長賞                                                                                    | 物質工学科        | チンゾリグ ハグワスレン |
| 令和4年度全国高専土木学会 近藤賞                                                                                 | 環境都市工学科      | 柳澤 菜依        |
| 令和4年度土木学会関東支部新潟会 土屋雷蔵賞                                                                            | 環境都市工学科      | 阿部 美里        |
| IEICE信越支部 学生奨励賞                                                                                   | 電子機械システム工学専攻 | 矢野 夏海        |
| IEICE信越支部 学生奨励賞                                                                                   | 電子機械システム工学専攻 | 山岸 遼平        |
| 化学工学会 学生発表会 優秀賞                                                                                   | 物質工学科        | 羽田 泰幸        |

### 同窓会長賞

#### インフラマネジメントテクノロジーコンテスト(プレラボ活動)

|             |       |
|-------------|-------|
| 機械工学科       | 小山 高空 |
| 機械工学科       | 坂井 琢朗 |
| 電気電子システム工学科 | 鈴木 哲人 |
| 環境都市工学科     | 阿部 美里 |
| 環境都市工学科     | 瀧澤 裕文 |

#### バスケットボール部

|       |      |
|-------|------|
| 機械工学科 | 吉井 諒 |
|-------|------|

#### 物質工学科

渡邊 大翔

#### 陸上競技部

|             |       |
|-------------|-------|
| 電気電子システム工学科 | 矢野 哲平 |
| 物質工学科       | 中野 悠  |

#### ソフトテニス部

|       |       |
|-------|-------|
| 物質工学科 | 佐藤このみ |
|-------|-------|

#### 電算機部

|         |       |
|---------|-------|
| 電子制御工学科 | 佐野 裕馬 |
| 電子制御工学科 | 矢野 敦大 |

#### 全国高専ディープラーニングコンテスト2021

|             |      |
|-------------|------|
| 電気電子システム工学科 | 中島 励 |
|-------------|------|

#### 水泳部

|         |       |
|---------|-------|
| 機械工学科   | 小出 彪威 |
| 機械工学科   | 谷口 諒  |
| 電子制御工学科 | 筋内 奏依 |
| 環境都市工学科 | 秋山 義紀 |
| 環境都市工学科 | 神林 昂  |
| 環境都市工学科 | 込山 拓実 |

## 進路状況 (令和5年3月13日時点)

### 学科

| 学 科         | 区 分 | 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 |     |    | 研究生等 |
|-------------|-----|------|------|------|-----|----|------|
|             |     |      |      | 県 内  | 県 外 |    |      |
| 機械工学科       |     | 30   | 16   | 11   | 5   | 6  | 3    |
| 電気電子システム工学科 |     | 37   | 23   | 14   | 5   | 9  | 0    |
| 電子制御工学科     |     | 39   | 27   | 9    | 4   | 5  | 3    |
| 物質工学科       |     | 43   | 27   | 15   | 5   | 10 | 1    |
| 環境都市工学科     |     | 40   | 24   | 16   | 7   | 9  | 0    |
| 計           |     | 189  | 117  | 65   | 26  | 39 | 7    |

### 専攻科

| 専 攻          | 区 分 | 修了者数 | 進学者数 | 就職者数 |     |    | 研究生等 |
|--------------|-----|------|------|------|-----|----|------|
|              |     |      |      | 県 内  | 県 外 |    |      |
| 電子機械システム工学専攻 |     | 23   | 3    | 19   | 8   | 11 | 1    |
| 物質工学専攻       |     | 10   | 6    | 4    | 2   | 2  | 0    |
| 環境都市工学専攻     |     | 11   | 1    | 9    | 4   | 5  | 1    |
| 計            |     | 44   | 10   | 32   | 14  | 18 | 2    |

## 高志台さくら基金のお知らせ

長岡高専の学生の教育研究に関する活動の支援を行います。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

- 学生への支援内容 教育研究活動、奨学金の給付、課外活動、就職活動、海外研修、国際交流、社会貢献活動、学習環境整備 など
- 令和4年度受入実績 125件 1,729,890円 (R5.3.1現在)
- 税法上の優遇措置 個人の方は所得税・住民税控除が受けられます。法人の方は全額損金に算入できます。

【基金ホームページ】 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/sakura-fund/>  
 【お問い合わせ先】 長岡工業高等専門学校総務課総務・企画係  
 T E L : 0258-34-9311  
 E-mail : kikin@nagaoka-ct.ac.jp



ホームページQRコード